

平成26年度 決算

平成26年度の一般会計、特別会計、企業会計の決算が市議会で認定されました。

平成26年度は、厳しく先行き不透明な財政状況の中、第1次総合計画後期基本計画の4つの戦略プロジェクト（まち守り・まち磨き・みんな健康・子ども輝き）を中心に、さまざまな施策に力を注ぎました。

「平成26年度つうしんぼ」では、皆さんに納めていただいた税金や、国・県から市に入ったお金がいくらで、どのように使われたか、また、市の財政状況はどうなっているのか、詳しくお伝えします。

一般会計

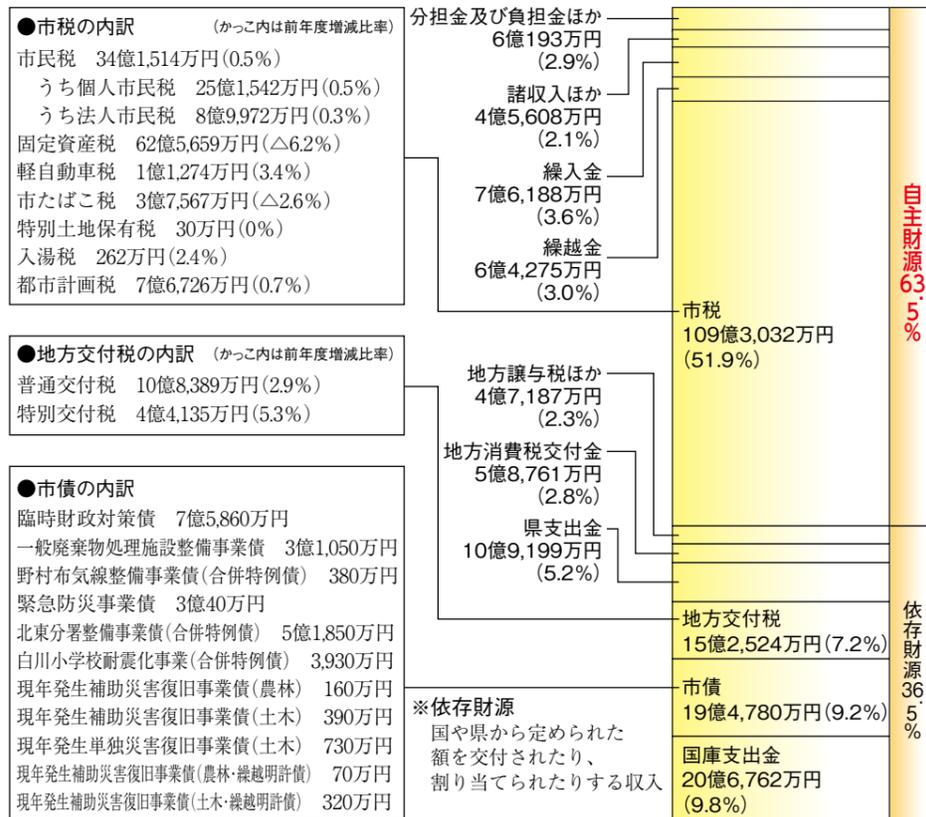
一般会計の歳入は210億8,508万円、歳出は201億9,831万円。歳入歳出差引額は8億8,677万円で、翌年度に繰り越す財源を控除した実質収支額は7億2,545万円の黒字となりました。

歳入 210億8,508万円

歳入は前年度より約7千万円減少した決算となりました。

市税収入が前年度より約4億円減となったものの、基金等からの繰入金を約3億円増やし、自主財源は前年度より約7千万円減少に留めました。構成比も歳入全体の63.5%で、前年度比で0.1%下がりました。

依存財源は、前年度の臨時的な措置分であった約2億円が減少となったが、地方交付税や地方消費税交付金が増となったことにより、前年度並となり、構成比は全体の36.5%を占めています。



まち守り

北東分署建設事業 5億9,502万円



北東部地域における消防力の充実・強化を図るため、北東分署の建設工事を行いました。

まち磨き

かめやま文化年事業 1,630万円



「暮らしの中の文化」を再発見、再認識することで、自分たちの文化や地域に愛着と誇りを持つ契機となるよう「みつめる」をキーワードに「かめやま文化年2014」に取り組みました。

みんな健康

介護予防事業 1,264万円



高齢者が健康寿命を延ばし、地域で生きがいを持って生活ができるようにするため、要支援・要介護状態に移行することがないように介護予防教室の開催などの取り組みを行いました。

子ども輝き

放課後子ども教室推進事業 1,449万円



子どもたちが健やかに育まれる環境づくりを推進するため、全小学校区で放課後子ども教室推進事業を実施しました。

歳出 201億9,831万円

歳出は前年度より約1億8千万円増加した決算となりました。

性質別で見ると、義務的経費は、人件費の増などにより、前年度と比べて約1億2千万円増加し、また、その他の経費として、物件費・繰出金などの増により、前年度と比べて約3億円増加しています。投資的経費は、前年度と比べて約2億4千万円減少しました。溶融施設長寿命化事業や和賀白川線整備事業などが完了したことが要因となっています。

